

【第26号】

かけはし

若松地域づくり協議会

児童らの弾む声が地域の活力

安全安心なまちづくりを目指して



日々、子ども、高齢者を含めた地域住民が利用する幹線道路、生活道路では、歩行者・自転車・車が行き交っています。そのような中で、交通事故が起こらない安全安心なまちづくりを目指して学校、PTA、自治会、警察、交通安全協会、地域づくり協議会等が連携して種々の活動に取り組んでいます。

具体的な行動では、多くのボランティアのお力もお借りしています。

今回は、交通安全に関する活動を中心に紹介します。

全活動の原点は、住民一人一人の交通ルールの順守と正しい交通マナーが出発点です。最近の交通事故を見ると「これぐらいは」が、取り返しのつかない事故に繋がっている事例が数多く発生しています。まず、自らが交通規則を守り他の車、自転車、歩行者の模範になることからです。

青パトは、まちの防犯と交通安全の移動見守りです

青パト（青色防犯パトロール）は、青色回転灯を装備した自動車を使用し、青色回転灯を点灯させて行う防犯・交通安全パトロールで、三重県警から許可を得て自主活動を行っている地域組織です。

現在、若松地区は、許可車6台、乗車メンバー12人（2名一組で乗車。運転手は運転に専念し、見守りは助手席に乗車する人がおこないます）でチームを編成しています。

子どもの下校時の見守り及び巡回を原則に臨機応変にパトロールをおこなっています。



青パト出発前（若松公民館駐車場）



若松小PTAの交通安全・防犯活動



登校指導・下校見守り・見守りパトロール

通学路や公園などの交通事故をはじめとした様々な危険から子どもを守るためにPTAを中心に自治会・学校・警察・交通安全協会・若松地域づくり協議会の役員、ボランティア等の協力で登校指導(若松地区内危険箇所12の交通指導)、下校見守り(地区内の踏切、交差点の危険箇所での交通指導)、町内見守りパトロール(子どもたちが遊ぶ公園、広場の防犯見守りで若松地区内20箇所)をおこなっています。



前述の活動とあわせて、前回の回覧「かけはし」に記載しましたが、平時に交わす明るい元気な声でのあいさつ運動も交通安全・防犯で欠くことのできない取り組みです。

子どもたちに寄り添った様々な活動を通じて、子どもたちの明るく弾む声があちこちで聞こえるようなまちづくりを進めていきますので皆さまのご協力を宜しくお願いします。



千代崎駅前東交差点付近



若松駅南踏切東側交差点付近



若松小学校東歩道橋前交差点付近

まもってくれてありがとう運動・若松小モデル校指定



7月14日(水)、鈴鹿市交通安全協会から若松小学校が「まもってくれてありがとう運動」のモデル校に指定されました。

この運動は、信号のない横断歩道を渡った児童が、止まってくれた運転手さんに会釈をしたり、「ありがとう」と言ってお礼の気持ちを表すことで、運転手さんに「止まってよかった」という歩行者優先の精神を助長させ歩行者優先ルールの遵守を浸透させる取り組みです。ご協力を宜しくお願いします。

(左写真は指定書を受け取る池田道彦校長)